

丹下左膳 飛燕居合斬り (1966)

メディア 映画

ジャンル 時代劇 アクション

製作国 日本

色彩 Color

時間 91分

初公開日 1966/05/21

【解説】

おなじみ時代劇のアウトロー丹下左膳の活躍を、中村錦之助主演で描いた娯楽時代劇。脚本・監督は「五匹の紳士」の五社英雄。中村錦之助は本作を最後に東映を退社した。

将軍の側近である愚楽老人が暗躍する江戸時代中期。相馬藩では長老の命により親友の神島小十郎を斬った丹下左馬之介が、家老一派の隠密に襲われ行方知れずとなっていた。愚楽は柳生藩を潰すため日光東照宮の改修を命じるが、藩主の対馬守は柳生家の家宝である「こけ猿の壺」に隠された百万両を使って工事を済ませようとする。壺を守り江戸へと向かう柳生源三郎が愚楽の手下に襲われたとき、隻眼隻手の丹下左膳という浪人が現れた。愚楽の手下を斬った左膳は盗賊のお藤と与吉をともない消えてしまう。こうして家宝「こけ猿の壺」をめぐる争奪戦の火ぶたが切って落とされたのだった。

【クレジット】

監督 五社英雄

企画 小川三喜雄

原作 林不忘

脚本 五社英雄

撮影 吉田貞次

美術 塚本隆治

音楽 津島利章

出演 中村錦之助

大友柳太朗

淡路恵子 Keiko Awaji

木村功

入江若葉

丹波哲郎 Tetsuro Tamba

河津清三郎

天津敏

藤岡琢也

平参平

横山アウト Yokoyama Out

人見きよし